

2020年度 公益社団法人香川県聴覚障害者協会総括報告

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で各種行事などがほとんど中止になり会員同士の交流や情報交換をすることが出来ない大変苦しい1年でした。そのため高齢会員が外出できずに会員を辞めた方もおられます。手話で話すことは生きていく上でとても重要なことですが、対面で話す機会を奪われた高齢者にとっては情報を獲得する機会を奪われたことにも繋がりととても辛い1年になりました。

高松市とさぬき市では、小学生に手話を普及する出前講座が始まり子供たちが手話に触れよう者のことを考える良い機会となりました。講座を受けた子供たちから多くの感想文が送られてきました。この出前講座に派遣する講師（手話普及啓発員）の養成を企画しておりましたが、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で中止せざるを得ませんでした。

2021年3月には丸亀市で「丸亀市手話言語条例」と「丸亀市障がいのある人の情報保障及びコミュニケーション手段の利用促進に関する条例」が成立、香川県内で5市目となりました。

一日も早く香川県内全ての自治体で条例が制定され、当たり前のように手話でコミュニケーションできる社会環境になればどんなに素晴らしいことでしょう。そのため私たちが行う啓発活動も大変重要になります。

2020年度には商業施設で「手話言語フェスティバル」の企画や映画「咲む」の上映を予定しておりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で開催することは出来ませんでした。

手話のできる県民を増やすために手話奉仕員養成講座も開講を1ヶ月遅らせて実施し年度内に全ての課程を無事に終了することができました。

また、手話通訳者養成講座では、手話奉仕員養成講座修了後に手話通訳者養成講座受講者を増やすためにステップアップ講座を開催して手話技術力のアップを図り選考試験受講者も大幅に増加する効果がありました。手話通訳者全国統一試験の合格者増を目指してフォローアップ講座も開催して統一試験合格に向けての試験対策講座を開催しました。2020年度は、手話通訳者全国統一試験受験者では合格者3名となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で行事や会議なども中止や延期となっています。生活面でも感染防止から外出の自粛やマスク着用などコミュニケーションに困難を伴う場面も生じています。知事の記者会見などで手話通訳が付きテレビで手話通訳を見る機会も増え手話に対する理解も広がってきておりますが、新型コロナウイルス感染症に関する記者会見だけでなく全ての記者会見やニュースに手話通訳を付けるのが当たり前になるようにこれからも働きかけなければなりません。

①手話通訳事業拡充のための取り組み

- (1) 香川県下の意思疎通支援事業の取り組みについては、香川県及び各市町に意思疎通支援事業の拡充に関して毎年派遣の現状について理解をしてもらうために報告と改善の提案を行っています。登録通訳者が高齢になり登録抹消する数が新規に登録する手話通訳者より多く、急な派遣依頼に対しては手話通訳者の確保が困難で派遣対応が出来なかったケースも数件ありました。

(2) 安心して手話通訳の派遣が受けられるように登録手話通訳者現任研修を高松（夜間）と中・西讃（土曜日昼間）で年 12 回開催するなど情報提供や技術指導などを実施しました。

登録手話通訳者は最低年 3 回以上この現任研修を受講しなければ翌年派遣することができないことになっています。

②組織と活動強化のための取り組み

2020 年度の会員数は、163 名と昨年度より 23 名減となり過去最低の会員数を 4 年連続で更新しました。この 3 年間で会員が約 50 名減となり、正会員数の大半が高齢会員であり年々高齢会員が増加していることから組織運営のあり方や運動を支える若年層の後継者不足が深刻な問題になっています。

日本聴力障害新聞や季刊みみは、毎年購読者が減少しており購読者の拡大に向けた取り組みも引き続き必要となっています。

③香川県聴覚障害者福祉センター運営のための取り組み

冷暖房や光熱水費、消耗品などの経費節約等の徹底を図りコストの削減に努めておりますが、感染防止対策で換気の徹底を図ったために窓を開放しての利用となり冷暖房効率が悪くなり昨年度よりガス・電気の使用量が増えてしまいました。

また、赤い羽根歳末助け合いの助成金を利用してセンター入口に非接触型検温器を設置して安心して入館できるようにしました。

④高齢者対策のための取り組み

コロナウイルス感染症の影響で対面での行事などが中止になり、高齢者への情報提供などの支援が大きな課題となりました。

⑤情報手段拡充のための取り組み

聴障かがわに掲載している内容など動画による情報発信等の取り組みを少しずつ始めました。行政にも手話言語にアクセスできる動画作成について要望しています。

⑥手話のできる県民を増やすための取り組み

香川県の委託事業である手話通訳者養成講座 3 課程を 1 会場、手話奉仕員養成講座 2 課程を県下 8 市 9 町合同事業として香川県下 5 会場で実施しました。

各種専門学校や団体等からの依頼に応じて講師を派遣し手話や聴覚障害についての普及と啓発活動に取り組みました。

今年度から手話奉仕員養成講座では、特別研修（講義）2 回、特別研修（実技）各会場毎に 1～2 回実施しました。手話通訳者養成講座では、手話通訳者養成講座受講希望者を対象にステップアップ講座 6 回、手話通訳者統一試験合格を目指してフォローアップ講座 6 回開催しました。

全国手話検定試験を 5 級～2 級まで実施、受験者の多い専門学校については、団体受験として別日程で開催しました。

2020 年度の全国手話通訳者統一試験では、14 名が受験し 3 名が合格しました。

⑦関係団体と連携した取り組み

香川県身体障害者団体連合会や香川障害フォーラムに加盟し要望活動など香川県内の障害者団体と共に運動を進め、関係団体（香川県中途失聴難聴者協会・全国手話通訳問題研究会香川支部・香川県要約筆記サークルゆうあい）と連携して聴覚障害者災害時支援対策

準備委員会を開催し安否確認訓練を実施しました。

公益事業1 コミュニケーション支援事業報告

【事業総括】

聴覚障害者が日常生活において必要なコミュニケーション支援事業を実施している香川県下各市町及び各種団体等からの依頼を受け、手話通訳者等をコーディネートして手話通訳者を以下のとおり派遣した。

【事業概要】

①市町コミュニケーション支援事業

手話通訳者の派遣については、香川県下全市町と派遣契約を締結して聴覚障害者等の要請に基づき適切な派遣・調整を行った。

また、手話通訳設置事業については、観音寺市・三豊市・善通寺市・丸亀市・坂出市との契約を締結して職員を出向させ各市役所内等での通訳や相談等必要な支援を行った。

	手話通訳設置事業		手話通訳者派遣事業	
	設置日数	相談同行件数	派遣件数	派遣者数
香川県			9件	18名
高松市			1,099件	1,147名
観音寺市	28日	64件	114件	119名
三豊市	34.5日	170件	68件	68名
善通寺市	9.5日	342件	4件	4名
丸亀市	221.5日	615件	78件	78名
坂出市	137.5日	192件	1件	1名
さぬき市			25件	25名
東かがわ市			19件	19名
小豆島町			1件	2名
土庄町			0件	0名
三木町			17件	17名
直島町			0件	0名
綾川町			16件	17名
宇多津町			27件	27名
まんのう町			42件	43名
琴平町			15件	15名
多度津町			1件	1名
計	516.5日	1,383件	1,675件	1,844名

※土庄町、直島町は派遣実績がありませんでした。

②手話通訳者等派遣事業

各市町コミュニケーション支援事業に該当しない各種団体・企業等からの依頼に基づき、手話通訳者等の派遣・調整を行った。

・聴障センター派遣事業 延べ 139件 243名

設置事業を除く派遣件数及び派遣人員 1,675件 1,844名

公益事業2 香川県聴覚障害者福祉センターの報告

【事業総括】

聴覚障害者への情報提供・相談支援、研修室及び情報機器の貸出、文化・学習・レクレーション支援等を行うための聴覚障害者情報提供施設とそれに付随する事業を香川県より受託されている指定管理者として以下のとおり実施した。

【事業概要】

①香川県聴覚障害者福祉センター管理運営事業

建物の維持管理を適切に行うために専門業者等による定期検査などを行い、必要に応じて修繕等を行い適切な管理運営を実施した。

②手話通訳者養成事業

2020年度手話通訳者養成講座開催状況

- ・通訳Ⅰ（土曜日・高松） 36回 受講者（18名） 修了者（16名）
※受講者選考試験申込者数 30名（選考にて18名） 受講者延べ 524名
- ・通訳Ⅱ（土曜日・高松） 34回 受講者（9名） 修了者（8名）
受講者延べ 276名
- ・通訳Ⅲ（土曜日・高松） 13回 受講者（7名） 修了者（6名）
受講者延べ 74名

合 計 83回 受講者（34名） 受講者延べ 874名

※手話通訳者全国統一試験受験者数 14名 合格者数 3名

③手話奉仕員養成事業

2020年度手話奉仕員養成講座開催状況

- ・入門編（土曜日・東讃） 22回 受講者（14名） 受講者延べ 212名
- ・入門編（土曜日・高松） 22回 受講者（36名） 受講者延べ 538名
- ・基礎編（水曜日・高松） 25回 受講者（23名） 受講者延べ 513名
- ・基礎編（土曜日・中讃） 25回 受講者（13名） 受講者延べ 269名
- ・基礎編（木曜日・西讃） 25回 受講者（6名） 受講者延べ 141名

合 計 119回 受講者（92名） 受講者延べ 1,673名

・合同研修

①特別講座

- 入門編 東讃会場 1回 受講者 6名
- 高松会場 1回 受講者12名
- 基礎編 高松会場 1回 受講者16名
- 中讃会場 2回 受講者延べ12名
- 西讃会場 2回 受講者延べ11名

②特別講演 1回

- 合同研修 一般36名・奉仕員受講者21名

④字幕入りビデオ製作事業

手話通訳者養成講座を目指す方を対象にした選考試験DVDや聴覚障害に対する県民の理解向上に向けた映像（各地域の行事など）を制作した。

・ 2020年度手話通訳者養成講座選考試験	24分	4本
・ 手話啓発動画（一般企業向け）	43分	2本
・ 手話解説動画（公共施設向け）	23分	5本

合計 制作件数 3件 貸出本数 11本

⑤字幕入りビデオ貸出事業

デジタル放送の普及に伴い聴覚障害者もリアルタイムに字幕付きテレビ放送を見ることが出来るようになり利用者数は減少傾向にあります。手話学習者がセンターで制作しているビデオを自宅学習などに利用するなどの貸出が増えている傾向があり、ビデオの貸出についてはまだ需要もあります。

貸出総回数

実施機関	貸出回数	貸出本数
香川県聴覚障害者福祉センター	150	413

内訳

利用者	貸出回数	貸出本数
聴覚障害者	0	0
聴覚障害者以外の団体及び個人	150	413

字幕入りビデオテープ保有本数

実施機関	本数
香川県聴覚障害者福祉センター	4,953

⑥IT活用支援事業

今年度は、香川県聴覚障害者福祉センターにて、聴覚障害者を対象としたIT講習会を企画した。

- ・ 電話リレーサービスについて学ぼう・遠隔手話サービス説明会
内容は、電話リレーサービスの概要、遠隔手話サービスを利用するための事前登録等についての学習および説明。また、遠隔手話サービスで必要となるメールの利用（主に受信設定）についても実際にスマホやタブレットを操作し、理解を深めてもらった。参加者全員が遠隔手話サービスの事前登録を行うことができた。

開催日 10月4日（日）13時30分から16時30分 受講者4名



高齢聴覚障害者等で聴障センターに来所するのが困難な方や、自宅のパソコンのインターネット接続設定等で必要な指導及び支援のために、パソコンボランティアを派遣した。

聴障センターにて個別指導 5名 (職員対応)
 居宅派遣回数 3回 対象者 4名 派遣者 3名

計 延べ受講者数 9名 サポーター等延べ 7名

※聴障センターでの個別指導や居宅派遣は主に職員が対応し、上記サポーター等延べ人数には、職員対応分も含んでいます。

⑦情報機器の貸出等コミュニケーション支援事業

聴覚障害者のコミュニケーションを支援するための各種情報機器の貸出を行った。

貸出情報機器

・携帯用磁気ループ	2台	0回	・データプロジェクター	5台	113回
・OHP	2台	0回	・ビデオデッキ	1台	0回
・スクリーン	3台	0回	・聴障体験グッズ	20台	7回
・デジタルビデオカメラ	1台	3回	・OHC	1台	0回
・パソコン	1台	120回	・双方向呼出器「合図くん05」	1台	0回
・携帯筆談器「かきポンくん」	5台	0回	・その他		7回

貸出回数 延べ 250回

⑧聴覚障害者の文化、学習、レクリエーション活動等の援助及び推進事業

聴覚障害者団体等が行う文化活動等に対し、その会場を提供するなどその援助及び推進に努めた。

研修室利用状況 298回 4,240名

【 会議 】

開催日	会議名及び主な協議事項	開催場所	参加人数
6月23日 (火)	業務連絡会議 ・設置業務状況 ・意見交換会	聴障センター	8名
10月27日 (火)	業務連絡会議 ・設置業務状況 ・人権講演会	聴障センター	9名
3月23日 (火)	業務連絡会議 ・設置業務状況	聴障センター	9名
3月6日 (土)	センター運営協議会 ・2020年度事業状況 ・利用者アンケート結果など	聴障センター	13名

公益事業3 聴覚障害や聴覚障害者及び手話の普及啓発事業

【事業総括】

聴覚障害や聴覚障害者、手話等に関して健聴者に正しく理解してもらうために以下のとおり普及啓発を行い、聴覚障害者が社会参加しやすい環境整備に努めました。

【事業概要】

①啓発事業

事務局担当事業

- ・毎月1回新聞の編集・発行

毎月定期的に350部発行している。聴障者に読みやすい紙面作りを心がけて、写真やイラストを多くした紙面となっている。

- ・手話言語フェスティバル2020 ※中止

- ・全国手話検定試験受験者のための学習セミナー（5・4・3・2・準1・1級）※中止
（詳細別紙委員会報告のとおり）

- ・全国手話検定試験（5・4・3・2・準1・1級）※準1・1級は実施せず
（詳細別紙委員会報告のとおり）

情報コミュニケーション委員会担当事業

開催日	行事名	開催場所	参加人数
6月5日(金)	手話通訳者現任研修 夜①-1	聴障センター	24名
6月19日(金)	手話通訳者現任研修 夜①-2	聴障センター	17名
6月27日(土)	手話通訳者現任研修 昼①	西讃ふくろうセンター	13名
7月3日(金)	手話通訳者現任研修 夜②	聴障センター	29名
7月18日(土)	手話通訳者現任研修 昼②	ひまわりセンター	9名
9月5日(土)	手話通訳者現任研修 昼③-1	聴障センター	29名
9月12日(土)	手話通訳者現任研修 昼③-2	聴障センター	5名
10月2日(金)	手話通訳者現任研修 夜④	聴障センター	14名
10月4日(日)	手話コミュニケーションを学ぼう	聴障センター	32名
10月24日(土)	手話通訳者現任研修 昼④	ひまわりセンター	8名
11月6日(金)	手話通訳者現任研修 夜⑤	聴障センター	15名
11月21日(土)	手話通訳者現任研修 昼⑤	西讃ふくろうセンター	7名
1月8日(金)	手話通訳者現任研修 夜⑥	聴障センター	13名
1月16日(土)	手話通訳者現任研修 昼⑥	ひまわりセンター	6名

②聴覚障害者や手話に関する刊行物、資料等の紹介（担当：事務局）

「聴障かがわ」によるPRや2階ビデオライブラリーにて常時展示を行い、必要な方に適宜紹介等の斡旋を行った。

③手話講習会等指導事業（担当：事務局）

大学や専門学校、各種団体等からの要請に応じて以下のとおり講師の派遣を行った。

- ・大学専門学校等 90回
- ・企業・団体等 10回

計 100回

公益事業 4 聴覚障害児・者生活支援事業

【事業総括】

香川県立聾学校と連携して学校開放日に体育館でろう文化を知ることのできる情報提供などを行った。また、聴障センターで毎月1回高齢聴覚障害者を対象として日常生活情報や学習機会の提供及び交流等を実施した。

【事業概要】

①聴覚障害児・者相談事業

・手話サロン（担当：教育・文化委員会）

香川県立聾学校の事情で中止となった。

・相談窓口の設置（担当：センター）
聴覚障害者及びその家族からの相談に応じ、聴覚障害者の自立と社会参加の意欲を向上させるよう援助指導を行った。

相談内容の主な項目は、右記のとおりです。

聴障者の文章読み書き、生活・住居、社会参加についてのコミュニケーション支援、情報獲得支援などの相談が多く寄せられた。

計 相談件数 150件

相談事業				
対応内容	相談(助言)	情報提供	その他	小計
読み書き	16	20	1	37
電話リレー	2	1	15	18
生命・健康	0	0	0	0
権利	2	0	0	2
福祉	1	2	0	3
職業	6	0	2	8
生活・住居	16	8	1	25
教育	1	0	0	1
自動車	1	0	0	1
社会活動	45	2	0	47
文化・教養	0	0	0	0
人間関係	4	1	0	5
その他	1	1	1	3
合計	95	35	20	150

②高齢聴覚障害者生活支援事業

・若葉の会（担当：センター）

毎月1回聴障センターで高齢者の生きがい事業として実施した。

開催日	行事名	参加人数	スタッフ人数
4月15日	【コロナのため中止】		
5月20日	【コロナのため中止】		
6月17日	【コロナのため中止】		
7月15日	【コロナのため中止】		
8月19日	【コロナのため中止】		
9月16日	敬老のお祝い会	8名	8名
10月21日	座ってできるゲームをしよう	9名	9名
11月18日	折り紙で干支飾りを作ろう（丑）第1回	9名	12名
12月16日	折り紙で干支飾りを作ろう（丑）第2回	11名	12名
1月20日	折り紙で干支飾りを作ろう（丑）第3回	11名	10名
2月17日	マジックショー	6名	7名
3月17日	お口のお手入れ、もぐもぐごっくん体操	6名	10名
計		参加者 60名	スタッフ 68名



・情報提供セミナー（担当：センター）

センターの動きなどの情報を掲載した「センターだより」を年4回発行して関係者や関係団体等に配布した。また、聴覚障害者への情報提供事業としてセンター主催で情報提供セミナーを下記のとおり開催した。

11月15日「運転免許証の返納、自転車の安全な走行について」 参加者 13名



・秋のつどい（担当：高齢・女性部）

11月1日（日）予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により中止となりました。

・デフ・いきいきつどい（担当：高齢・女性部）

2月7日（日）予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により中止となりました。

・聴覚障害者災害対策訓練（担当：災害時支援対策準備委員会）

例年であれば集合訓練（学習会）を実施しているのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり集合研修（訓練）を取り止めて各団体が独自の方法で会員の安否確認訓練を実施しました。

香川県内に大きな地震が発生して被害が出ていると想定、香川県聴覚障害者福祉センターに聴覚障害者救援災害対策本部を立ち上げて各関係団体等の会員被害の状況や安否確認調査を実施。連絡手段も各団体が把握している会員情報によりFAX・LINE・メール・電話と把握している会員情報で通じるのか？確認をしました。

開催日	行事名	参加人数	開催場所
1月17日（日）	聴覚障害者防災訓練	8名	聴障センター



公益事業5 聴覚障害者社会参加促進事業

【事業総括】

社会の中でコミュニケーションが困難なことから孤立したり、情報格差が生じたりなどの障壁があり、聴覚障害者と健聴者が共に参加できる学習会・スポーツ交流会などを実施して聴覚障害者と健聴者の相互の交流を深め、聴覚障害に関わる情報共有・交換の場を提供する予定でしたが、ほとんどの行事が中止になった。

【事業概要】

①聴覚障害者研修事業

開催日	行事名	開催場所	参加人数	担当部局
4月19日（日）	高齢・女性部会 青年部会	聴障センター	中止	組織委員会
6月12日～14日	第68回全国ろうあ者大会	愛知県	中止	事務局
7月5日（日）	四国ろう者のつどい2020	愛媛県	中止	事務局
7月6日（月）	四国ろうあ高齢者 スポーツ大会2020	愛媛県	中止	高齢・女性部
9月24日～27日	第32回全国ろうあ 高齢者大会	青森県	中止	高齢・女性部
10月23日～25日	第50回全国ろうあ 女性集会	京都府	中止	高齢・女性部
11月15日（日）	四国手話学習会 手話でGo!	徳島県	中止	事務局
11月21日～23日	第54回全国ろうあ 青年研究討論会	埼玉県	中止	青年部
12月5日～6日	第16回四国ろうあ 高齢部研修会	香川県	中止	高齢・女性部
12月6日（日）	ろうあ者のための国語	聴障センター	19名	情報コミ 委員会
2月19日～20日	第13回全国ろうあ 高齢部代表研修会		中止	高齢・女性部

②情報提供事業

開催日	行事名	参加人数	開催場所	担当部局
4月19日（日）	春の茶話会	中止	聴障センター	組織委

③聴覚障害者スポーツ大会参加支援

開催日	行事名	参加人数	開催場所	担当部局
5月16～17日	第12回中国・四国地区 ろうあ者体育大会 第20回全国障害者スポーツ大会 聴覚障害者バレーボール競技 中国・四国地区予選大会	中止	徳島県	スポーツ 委員会
7月6日（月）	四国ろうあ高齢者スポーツ大会2020	中止	四国中央 市	高齢・女性部
9月18～20日	第54回全国ろうあ者体育大会 ボウリング・野球・ソフトボール	中止	九州拡散 開催	スポーツ 委員会
9月24～27日	第32回全国ろうあ高齢者大会	中止	青森県	高齢・女性部